

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者の部屋に入る際、中にいらっしゃれば声掛けやノックをしているが、いらっしゃらい時の場合にきちんと出来ておらずプライバシーの確保や入居者の尊厳を守る事に関する意識の低さがみられる。	スタッフ一人ひとりが、意識しなくても自然に声掛けやノックの徹底が出来るようにする。	施設ではあるが、入居者にとっては家であることを、スタッフ一同が改めて自覚し、スタッフ間で、お互いに来ているかを確認し合い、徹底できるよう取り組む。	3ヶ月
2	35	防火管理者を男性職員に習得してもらっており、消防訓練は行っているが地震・水害時の訓練が行えていない。	今後、自家発電等も備え、自施設内でだけでなく地域にも貢献が出来る様、地域の方を交えての訓練や消防団との協力体制などを構築する。	コロナ禍ではあるが、地域と協力体制がとれるよう運営推進会議を利用し話しかけを行う。消防団友話が出来るようにし、訓練自体を強化していく。	12ヶ月
3	1	理念やケア指針に対しての理解や浸透が深くは、出来ていない。	職員の働くモチベーションにもなるので、一つ一つを話し合い、皆で共有していく必要がある。	理念の一つ一つを話し合い、職員のそれに対しての理解を深めていける機会を作っていく。また、新しくしていく必要がある所も話し合いまちめていく取り組みをしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。